

シュヴァリエ作のメダリオンに基づくリトグラフ（ルモワース、1865年）

（水谷彰良コレクションより）

シュヴァリエ作のメダリオンに基づくリトグラフ（ルモワース、1865年）

1864年、ナポレオン3世の皇室大臣ジャン＝バティスト・フィリベール・ヴァイヤン（Jean-Baptiste Philibert Vaillant, 1790-1872）の依頼を受け、白大理石のロッシェニの大きなメダリオン（médailon）がジャック＝マリ＝ヤシント・シュヴァリエ（Jacques-Marie-Hyacinthe Chevalier, 1825-95）によって制作された。月桂冠を戴くローマの偉人風の横顔がリアルに造型され、旧パリ・オペラ座（ペルティエ劇場）のロビーに設置されたが、1873年の同劇場の火事により現在はオペラ座博物館の所蔵となっている。

シュヴァリエ作のメダリオンは1865年パリのサロンに出品され、これに基づくリトグラフがアルフレード・ルモワース（Alfred Lemoine, 1824-81）によって作られた。筆者所蔵のサイズは27×17.3 cm、欄外上部に「SALON DE 1865」、図版の下部左に「Alfred Lemoine lith.」、右に「Imp. Bertaults, à Paris」、欄外下部の記載は「G. ROSSINI / MÉDAILLON en MARBRE, commandé par S. Exc. Le MINISTRE des BEAUX ARTS; au Statuaire H CHEVALIER, pour le Foyer de l'Opéra」とある。なお、同じリトグラフがパリのアルティスト社（L'Artiste）からも異なる欄外記載で発売されている（リトグラフそのものは1864年の作成と思われる）。



シュヴァリエ作のメダリオンに基づくリトグラフ
（A.ルモワース、1865年。筆者所蔵）